

## “せとうちDMO”の取組状況について

### 1 要旨・目的

一般社団法人せとうち観光推進機構の「令和4年度定時社員総会」において、令和3年度の取組状況について報告が行われた。

### 2 現状・背景

せとうち観光推進機構では、主に海外からの誘客に取組んでいたものの、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、海外からの誘客が大幅に減少しているため、「コロナ禍後の反転攻勢に向けた欧米豪誘客とコロナ禍に対応する国内誘客」を基本戦略として、取組を行っている。

### 3 概要

#### (1) 着地整備戦略（地域の魅力づくり）

コロナ禍後のインバウンドに「売れる」コンテンツの要素を外国人目線で評価検証を行い、既存のコンテンツの磨き上げや新たなコンテンツ造成を行った（コンテンツ造成28件）。

また、「自然×文化×アクティビティ」の日本の本質を深く体験・体感できる富裕層向け長期滞在型アドベンチャーツーリズムのモデルツアー造成のため、欧米豪のターゲットに訴求するコンテンツ造成、モニターツアーの実施やアドベンチャーツーリズムに対応できるガイドの育成講習会を実施した（コンテンツ造成8件、モデルツアー3コース造成）。

#### (2) 誘客戦略

米・仏・独・英の各市場に現地エージェンシーを設置し、メディア・旅行会社・業界団体等に対して、セールスコールやオンラインでの商談会、ニュースレターの配信等を実施した。

#### (3) エリアマネジメント戦略

瀬戸内エリアの観光を切り口とした活性化等を図るため、瀬戸内ミーティングをオンラインで開催し、瀬戸内エリアの観光関連団体等の成功事例紹介など情報共有を行った（参加者：第1回2,512名、第2回2,375名）。

#### 4 その他（令和3年度におけるせとうちDMOの事業支援）

（注）機構：一般社団法人せとうち観光推進機構 SBC：株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション

	年月日	支援内容等
1	R 3 . 6 . 29	○特別目的会社「株式会社エナビードゥーエ」による淡路島での複数の商業施設及び宿泊施設の開発への支援 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる資金支援
2	R 3 . 7 . 29	○グランピング施設（グランドーム瀬戸内しまなみ）開発への支援 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる資金支援
3	R 4 . 1 . 18	○グランピング施設（国営備北丘陵公園 湖畔ステイズ庄原）開発への支援（実行は、R 3 年 10 月 27 日） 【機構】プロモーション 【SBC】せとうち観光活性化ファンドによる資金支援